



本事業は、SDGsの「11 住み続けられるまちづくりを」に資する取組です。

県営油ヶ淵水辺公園において『ぶらリン広場』が完成し、児童用遊具の利用を開始します

愛知県では、県営油ヶ淵水辺公園（安城市）において2020年度から遊具広場「ぶらリン広場」の整備を進めており、一部の遊具等（幼児・乳幼児用遊具、水遊び場、休憩所）については、先行して2021年12月から供用を開始しています。

この度、「ぶらリン広場」が完成し、児童用大型複合遊具の利用を2023年2月11日（土）午前10時から開始しますので、お知らせします。

なお、利用開始日には、近隣小学校の児童を招待します。

【ぶらリン広場及び新規利用開始遊具概要】

(1) 名称

ぶらリン広場

(2) 所在地

県営油ヶ淵水辺公園 自然ふれあい生態園内（安城市東端町）

(3) 遊具利用開始日時

2023年2月11日（土） 午前10時

(4) 今回利用開始面積

約0.3ha（ぶらリン広場全体約0.8haのうち、2021年12月に幼児・乳幼児用遊具、水遊び場、休憩所約0.5haを供用開始済み。今回の遊具の整備をもって、ぶらリン広場のすべての整備が完了。）

(5) 遊具について

今回整備した児童用遊具は、2020年10月に安城市及び碧南市の小学生等を対象に実施したアンケート等によりデザインを決定しました。

(6) 近隣小学生の招待について

日時：2023年2月11日（土） 午前9時45分から（小雨決行）

招待者：安城市立明和小学校（安城市東端町）の児童（低学年中心に約30名）

内容：県担当者から遊具の遊び方を説明した後、児童に遊び初めをしていただきます。

(参考)

遊具広場「ぶらリン広場」の愛称

遊具広場については、油ヶ淵の「ぶら」と三河弁であるじゃん・だら・りんの「りん」を組み合わせ、「りん」は三河弁を強調するためカタカナで「リン」としました。『ぶらリン広場』には、「誰もがぶらっときて遊べる広場」という意味も込めています。また、広場内休憩所も「ぶらリン休憩所」と名付けました。

油ヶ淵水辺公園 自然ふれあい生態園 ぶらリン広場

児童用大型複合遊具（前面）



駐車場

水遊び場

ぶらリン休憩所

乳幼児用遊具

幼児用遊具

芝生広場

児童用大型複合遊具

児童用大型複合遊具（背面）



ぶらリン広場

凡例

- 既供用区域
- 既供用区域の内、
2021年度に供用開始した区域
- 今回供用区域
- ぶらリン広場全体 約0.8ha